

「オリンピックの金銀銅メダルを みんなで回収したりサイクル原料でつくりましょう」
ネット署名にご協力ください。

オリンピックは今やアスリートの祭典だけでなく、持続可能社会への取り組みのひとつのショーケースになってきています。となると、メダルは当然持続可能性を考慮したリサイクル由来ということになると思いますが、なかなか踏み出せないのが現実で、ロンドンでも資源メジャーの寄付、リオでは銀と銅の30%がリサイクルにとどまっています。2020年の東京ではぜひリサイクル由来でメダルをつくりたいものです。

オリンピックのレガシープランの中間報告にも、都市鉱山の活用としてメダルの検討は謳われています。しかし、新しいことには必ず躊躇が伴います。そこで、広範な国民の声の後押しが必要だと考えました。

そのひとつが、**Change** という実績あるインターネット署名の活用です。「オリンピックの金銀銅メダルを みんなで回収したりサイクル原料でつくりましょう」の賛同をこの署名で確認していこうということです。これで32万人の署名が集まれば、そのひとりひとりが使用済み携帯電話機を持ち寄るだけでも、金メダルに必要な金は賄えます。

賛同いただけるなら、ぜひ、<https://goo.gl/yNn2Lp> に アクセスして「賛同ボタン」を押してください。

そして、このアドレスを知人に知らせて、もっともっと多くの方が賛同するように進めていただけないでしょうか。

また、同時に **Face Book** に「金メダルを都市鉱山から」のページも立ち上げ、皆さんが投稿できるようにしています。

<https://www.facebook.com/groups/urbanmedal/> です・

さらに、(一社)サステナビリティ技術設計機構のホームページに 都市鉱山金メダル関係の情報をまとめた 特設ページを 設けています。すこしずつ内容をアップしていきますので、ご興味があればそちらも参考にいただければ幸いです。

<http://susdi.org/wp/medal/> です。

オリンピックという機会で、日本のリサイクル技術をアピールし、後世にひきつげるレガシーとして残せるようよろしくお願いします。

エコマテリアル・フォーラム会長

(一社)サステナビリティ技術設計機構 代表理事

原田 幸明